

授業科目 精神保健福祉論

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	社会
近 藤 あゆみ		開講時期	前期・後期	必修・選択	選択
		単位数	6	時間数	90
【概要・一般目標：G10】 この講義では、はじめに障害者福祉に共通して理解しておくべき理念および施策、実践的課題について学び、次にそれを土台にして精神障害者への支援の諸課題や関連法規への理解を深める。 特に、障害者自立支援法を含む、近年の精神保健福祉施策の変化については詳細に学習する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 (1) 障害者福祉の理念と意義について説明できる。 (2) 精神障害者福祉の歴史と理念について説明できる。 (3) 精神障害者の人権について説明できる。 (4) 精神保健福祉士の理念と意義について説明できる。 (5) 精神障害者に対する相談援助活動について説明できる。 (6) 精神保健福祉法、精神保健福祉士法等、精神障害者に関する法律について説明できる。 (7) 最近の精神保健福祉施策の変化について説明できる。 (8) 精神保健福祉の関連施策について説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1-5	障害者福祉の理念			1	講義
6	障害および障害者			1	講義
7-8	障害者福祉の基本施策			1	講義
9	現代社会と精神障害者			1	講義
10	精神保健福祉と精神障害者			2	講義
11	精神保健福祉の歴史と理念			2	講義
12	精神保健福祉の現状と展望			2	講義
13-14	精神障害者の権利			3	講義
15-16	精神科医療における権利擁護			3	講義
17	地域社会における精神障害者の人権			3	講義
18	精神保健福祉士の理念と意義			4	講義
19-20	精神保健福祉士のクライアント			4	講義
21	精神保健福祉士の専門性と倫理			4	講義
22	精神障害者を取り巻く社会的障壁（バリア）			5	講義
23	精神障害者の主体的尊重			5	講義
24-25	相談援助活動の方法			5	講義
26	相談援助活動の事例			5	講義
27-28	精神保健福祉法の意義と内容			6	講義
29	精神保健福祉士法の意義と内容			6	講義
30	関連法について			6	講義
31-32	障害者福祉施策の概要			7	講義
33-34	精神保健福祉に関する行政組織			7	講義
35	精神保健福祉に係る公費負担制度（公費負担医療等）			7	講義
36-38	精神保健福祉施策の課題			7	講義
39	社会復帰施策－精神障害者のリハビリテーション－			7	講義
40	地域生活支援			7	講義
41	精神障害者の保健福祉にかかわる専門職との連携			7	講義
42-43	医療保険制度、介護保険制度			8	講義
44-45	雇用・就労および所得保障、経済負担の軽減と生活環境の改善			8	講義
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所>
教科書 (必ず購入する書籍)		開始時に受講者と協議して決める。			
参考書		適宜紹介する。			
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席状況と期末試験の成績により行う。 (割合については、開始時受講者と協議して決める)		原則として「精神保健学」「精神医学」を履修済みの者に限定する。			